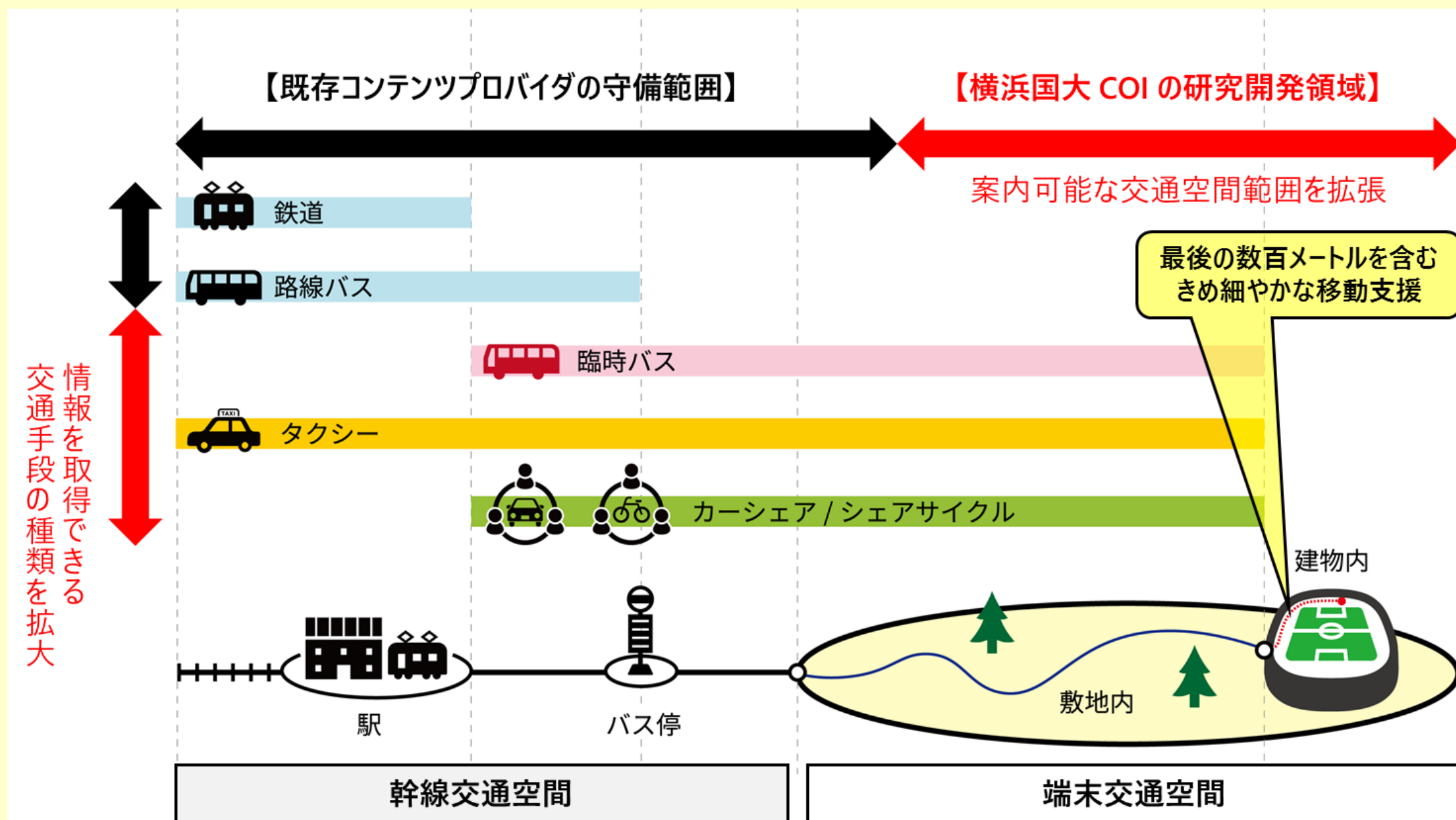


研究分類 ①: 社会実装テーマ (自家用車依存からの脱却による環境負荷削減と地域再生)

●交通手段のかしい使い分け ●行動開始のタイミングの変更 ●移動経路の変更

ベンチマーク



目標スペック

- 汎用地図にない詳細建物位置および詳細歩行経路の探索
- 複数事業者の路線バス位置情報一括表示
- トラッキングアプリを実装した車載端末による情報通信
- サーバー型 GIS による運行方向および所要時間の自動取得
- 管理者用アプリによるリアルタイム運行情報の可視化
- 屋内徒歩移動支援+混雑情報など動的データとの連携

⇒端末移動支援の強化により、交通空間範囲を拡張することで、非私的交通手段による移動を促進する、**地域密着型**の包括的な活動・移動支援【SDG'sへの貢献:3, 7, 10, 11, 13】

地域特化型移動支援および価値発信アプリの開発と試験運用

協力:横浜市交通局、相鉄バス、デンソー、ESRI ジャパン

- 大都市郊外地域における持続可能なまちづくり
- V + I + M + E による、包括的な地域再生・活性化のアプローチ

① Value creation

: 地域協働による価値づくり、コトづくり

② Information

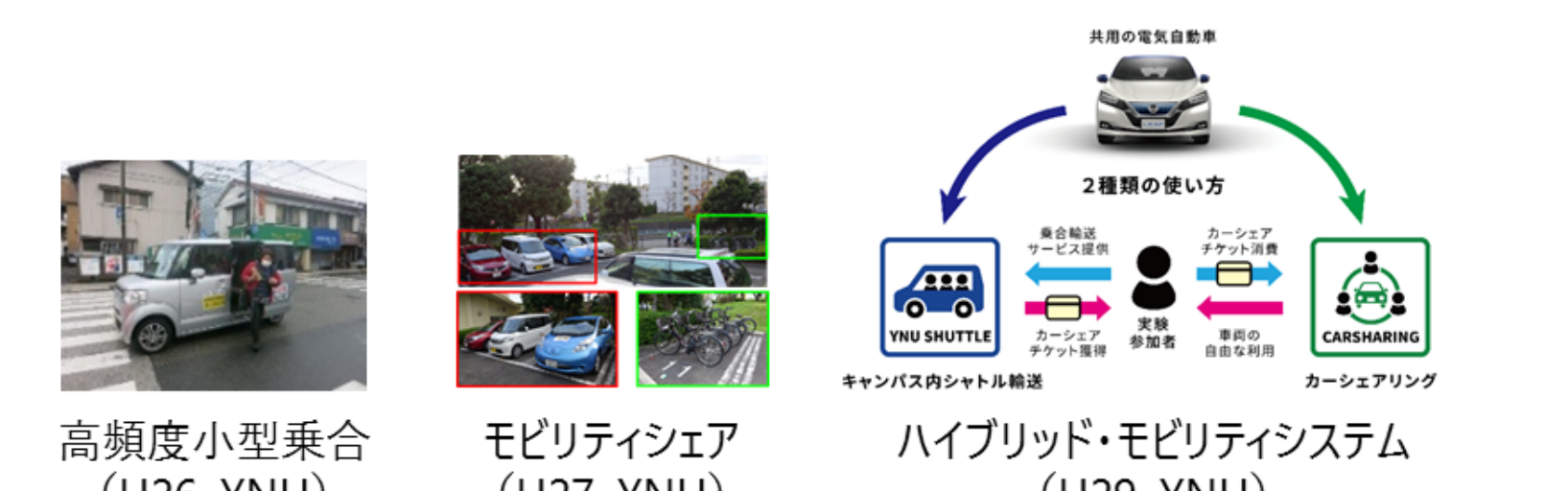
: 価値、コトの場所や内容を知ってもらう

③ Mobility

: 価値、コトへのアクセス手段を提供する

④ Experience

: 価値、コトにふれる、経験する

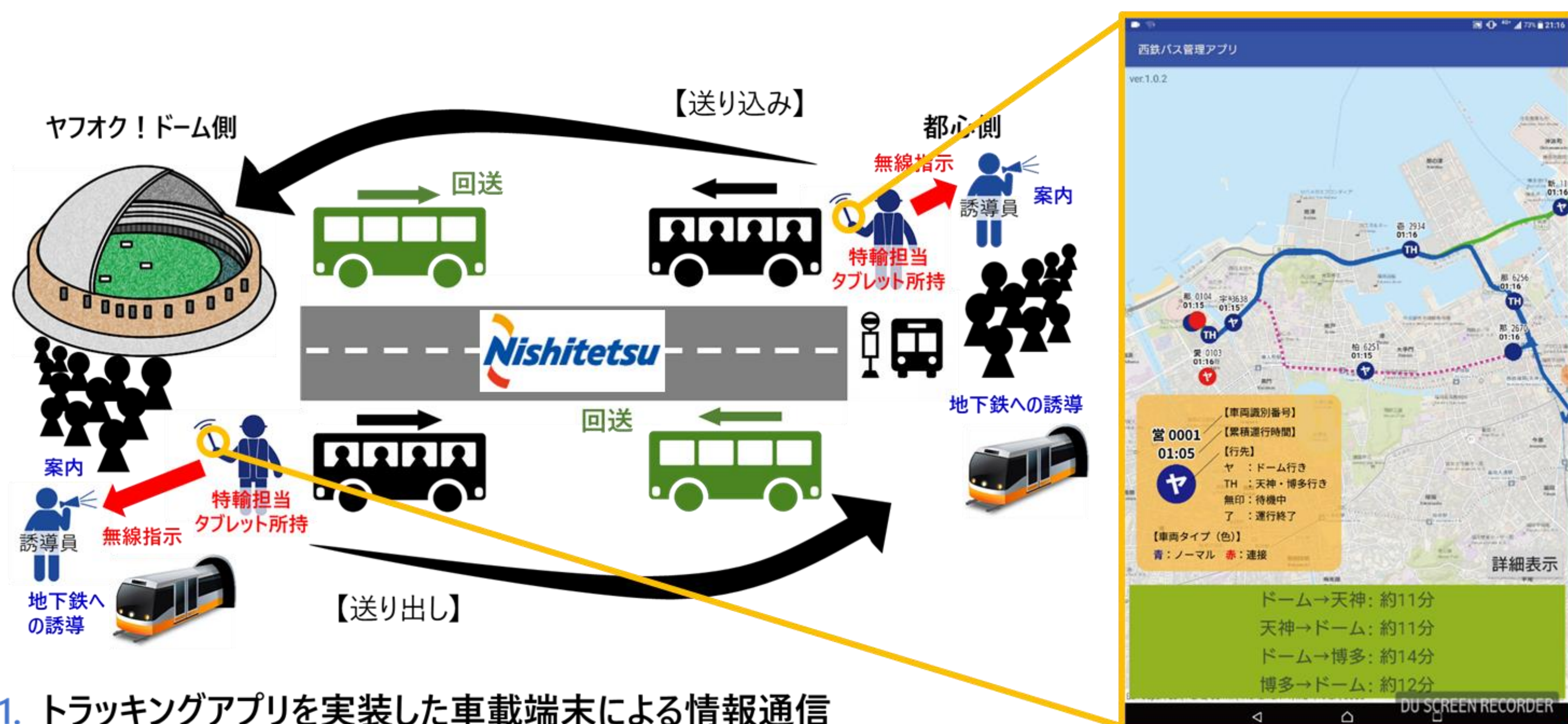


【今後の課題と対応】・目的別による情報提供の差別化 ・屋内測位エリアの拡大、設置箇所の精査 ・位置情報取得端末の改良など

ヤフオク！ドーム 臨時バス位置情報等 提供実験

協力:西日本鉄道株式会社

- 日時:平成30年3月7日(水) プロ野球オープン戦
- 運行情報送信用アプリを車載し、バスの位置、車両番号、車両タイプをサーバーに送信。
- バス運行管理者は、管理者用アプリによって、全ての臨時バスのリアルタイム運行情報(位置、車両タイプ)を把握し、無線で乗務員や整理員に行先等を指示。



1. トラッキングアプリを実装した車載端末による情報通信
 - 車両の位置、運行方向などのデータをサーバーにオンライン送信
2. サーバー型 GIS による運行方向および所要時間の自動取得
 - バスの空間的位置関係をリアルタイムに解析し、所要時間等を算出
3. 管理者用アプリによるリアルタイム運行情報の可視化
 - 回送車の到着間隔や車両タイプを勘案した運行管理が可能に

【今後の課題と対応】
・運行業務に支障のない端末の開発⇒地域特化型情報発信の応用

集客施設のある市街地エリアでの実践

協力: NEC、デンソー

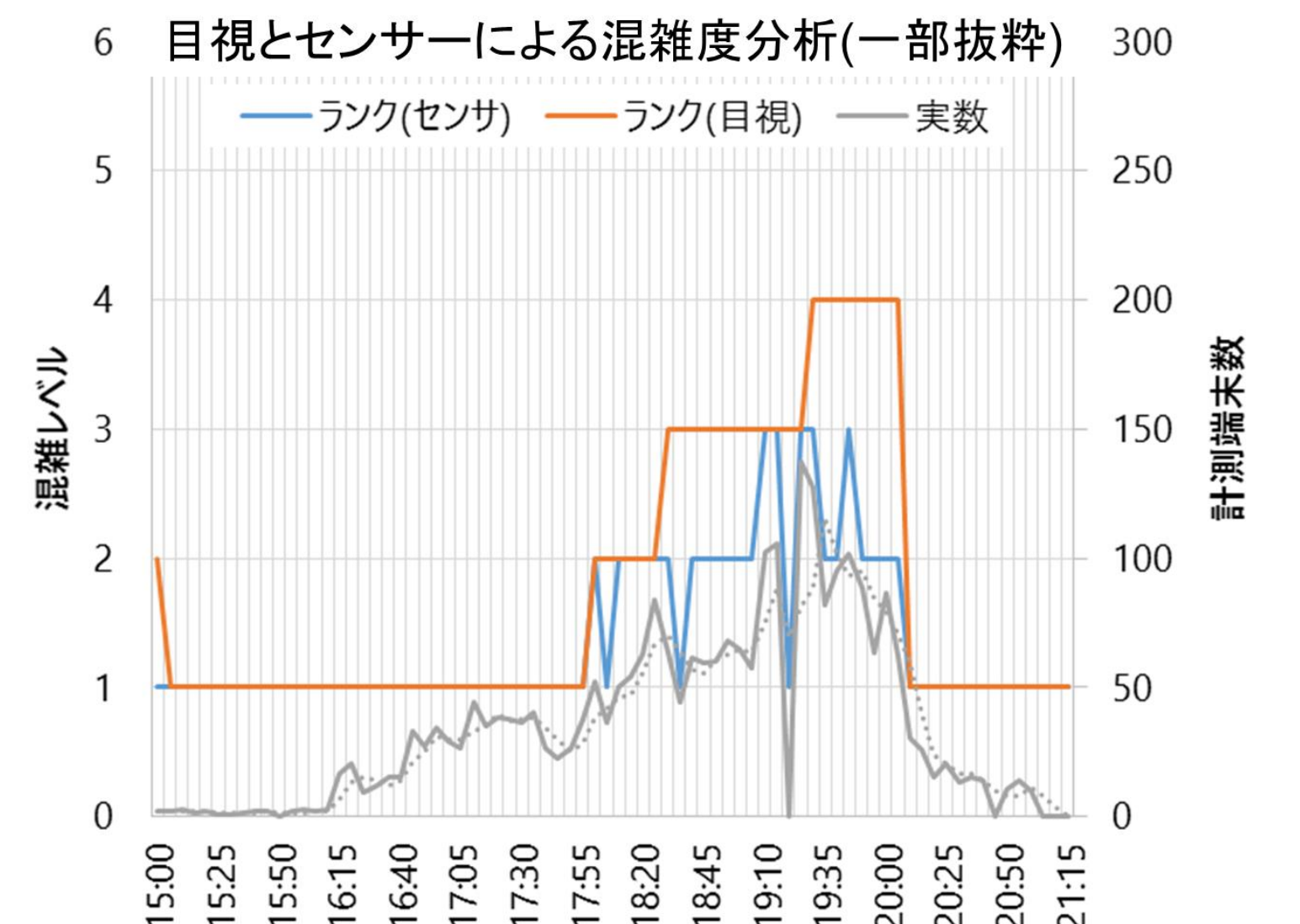
- 初めての来訪者を ①迷わせない、②ストレスを減らす、③イベント前後にまちを楽しませる
- 屋内徒歩移動支援 + 混雑情報など動的データとの連携 = **地域密着型**の包括的な活動・移動支援

2018.7.26 新横浜花火大会来訪者移動支援アプリの開発

- スマートフォン + 会場付近に設置したデジタルサイネージで情報提供
- 無料開放エリアの混雑状況、現在位置、立ち入り禁止エリアなどを表示
- ・観覧席無料エリアを中心に混雑度センサーを設置。
- ・カメラに映る群衆や方向別の通過人数などと組み合わせ、端末数の両者による測定比を用いて、Wi-Fiセンサだけを設置した場所での人数を推定。
- ⇒ **カメラの設置が難しいエリアでもより正確な混雑状況の把握が可能。**



【今後の課題と対応】・カメラと Wi-Fi のキャリブレーションの精査
・大量アクセス時における通信手段の構築



	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度～
事業所	屋内外徒歩案内	送迎バス・自動運転サービス連携			地域特化型価値発信PF
TRL	5(位置情報取得端末の改良)	6～8(ユーザーによるニーズ喚起と情報提供システムの構築)			9
集客施設	公共交通経路案内	道路・駐車場混雑情報,モビリティデータ解析・可視化			集客施設来訪者支援システム
TRL	4(エリアマネジメントの高度化)	5～7(ユーザーによる情報提供、通信システムの堅牢化)			8
輸送高度化	路線・臨時バス運行情報	屋内外ナビ,道路・施設混雑情報,バス輸送高度化			モビリティデータPF
TRL	5(位置情報取得端末の改良)	6～8(交通手段利用者への提供、地域特化型システムの構築)			9